

教育委員会点検・評価報告書
(令和元年度)

令和2年6月

勝山市教育委員会

1 概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律が平成19年6月に改正され、平成20年4月1日から施行されました。

これを受け、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆さんへの説明責任を果たしていく為に行うものです。

なお、具体的な点検及び評価項目や報告書の様式、議会への報告、公表の方法などについては、国が基準を定めるのではなく、各教育委員会が実情を踏まえて行うこととされています。

2 点検・評価の方法及び経緯

(1) 令和元年5月定例教育委員会（5月9日開催）

対象項目を協議するとともに、点検・評価表の素案について協議しました。

(2) 令和元年6月定例教育委員会（6月6日開催）

対象項目を協議するとともに、点検・評価表の素案について協議しました。

(3) 令和元年7月定例教育委員会（7月4日開催）

対象項目を協議するとともに、点検・評価表の素案について協議しました。点検・評価の対象項目を下記3のとおり決定するとともに、点検・評価の方法及び評価例を下記4、5のとおり決定しました。

(4) 令和元年11月定例教育委員会（11月3日開催）

点検・評価の中間取組状況、中間時点の課題等について、教育委員会ヒアリングを実施しました。

(5) 令和2年5月定例教育委員会（5月1日開催）

点検・評価の取組結果、成果、問題点、評点について、教育委員会ヒアリングを実施しました。

(6) 令和元年6月定例教育委員会（6月4日開催）

点検・評価の取組結果、成果、問題点、評点について、教育委員会ヒアリングを実施しました。

3 対象項目

(1) 令和元年度勝山市全体の政策（基本目標管理）評価のうち教育委員会関係

(2) 平成31年4月定例教育委員会協議事項の「各課の重要課題と取組方針」

※(2)が(1)に包含される場合は(1)の項目で、包含されない場合は適当な項目を付し対象項目としました。その結果、15項目が評価の対象となりました。

4 方法

(1) 対象項目ごとに点検・評価表の作成とともに、まず担当課による自己点検・自己評価を求めました。次に、教育部内の横断的な観点も含め教育委員会部局課長による相互点検・評価を求めました。

(2) 上記(1)を参考資料として教育委員会ヒアリングを実施し、教育委員会（委員5名の合議体）による最終の点検・評価を行いました。

5 評価例

取組目標に対する達成状況を基準にして評価対象の難易度を勘案し、最終的に教育委員会が次の基準（５～１）に沿って行いました。
また、特に評価の過程で点検・論議された課題等について、必要に応じて記載しました。

5	十分な成果があった
4	かなりの成果があった
3	最低限の成果はあった
2	あまり成果がなかった
1	まったく成果がなかった

6 点検・評価にあたって

評点は、難易度を斟酌して付しています。また、課題等は、次年度の目標設定におけるフィードバックを念頭に置き、論議した事項を記載しました。

以上の点検・評価の結果は、各評価対象項目における主な取組内容、評点及び課題等にして一覧表にとりまとめました。

7 おわりに

この制度は、教育委員会が自らの仕事の点検・評価を行い、住民の代表である議会に報告することで、説明責任を果たそうとするものです。

法改正に伴い取り組んでいます。どの作業も試行錯誤の中で行っており、今後、市議会をはじめ市民の皆様方のご意見を参考に、点検・評価の方法や時期等について見直しを重ねる中で、この制度をより良いものにしていきたいと考えています。

また、今回の報告にあわせて教育委員会の構成と教育委員の任期並びに教育委員会の開催回数と内容等についても、添付させていただきました。

令和元年度勝山市教育委員会の点検・評価表

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
1	教育環境の整備・充実 1	3	各関係者と協議を続ける必要がある。
	1 中学校再編検討委員会から7月に答申をいただき、県と協議、調整を進めている。また、答申の内容について説明会を行った。 2 旧中部幼稚園の建物は取壊し、福井勝山総合病院の職員用駐車場として整備する方向で関係者と調整している。取り壊し工事費を令和2年度当初予算に計上した。 3 給食調理員が嘱託職員から会計年度任用職員に移行することに伴い勤務条件を整備した。 会計年度任用職員として必要な人数を任用することができた。		
2	教育環境の整備・充実 2	4	- 学校改修工事や小中学校教室へのICT機器の充実については、今後も計画的に実施していく必要がある。 - 学校敷地の賃貸借契約については、税方式での契約更新について理解を得られていない部分がある。市の考え方を整理して、早急に地権者と交渉していく必要がある。
	1. 学校改修工事等 成器西小学校の長寿命化改修工事は予定どおり実施できた。 日常及び災害時の安全点検をもとに、施設修繕を行うと共に計画的な維持管理を行っている。 2. 小中学校教室へのICT機器の充実 所期の計画のとおり実施した。 3. 勝山市公共施設用地地代調査委員会の基本方針に基づき、契約内容を再確認し、更新手続きを進め、地代の均衡を図る。 ・地代調査委員会事務局の総務課とともに弁護士相談を行い、地権者との交渉の準備を整えている。		

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
3	心豊かでたくましい児童・生徒を育てる学校教育の充実 1. 「楽しく分かる授業」の推進と、支援を要する児童生徒に対する個に応じた丁寧な教育の充実 ① 後期学校訪問（10/7～11/22）における公開授業および研究会において、学校評価や全国学調の結果を踏まえた校内研究の進捗状況報告がなされ、校内研究が計画的に行われていることが把握できた。 10/7 鹿谷小（道徳科）、10/10 村岡小（外国語科）、10/11 平泉寺小（道徳科）、10/28 三室小（算数科）、10/30 成器南小（算数科）、11/1 荒土小（国語科）、11/6 北郷小（国語科）、11/8 成器西小（算数科）、11/15 勝山中部中（道徳科）、11/19 勝山南部中（数学科）、11/20 勝山北部中（道徳科）、11/22 野向小（国語科） ② 学力向上研修会の実施。研究主任が集まり、各校の本年度の取組について情報共有を行った。（1/30） ③ 全小中学校に国語・算数数学・理科・社会・外国語活動、英語のデジタル教科書や教材を配置し、教材研究や授業改善に活用。デジタル教科書を1週間に3日以上使用する教員は73%。うち毎日使用する教員は74%。 ④ 授業改善に対する意識の向上と、全授業日におけるICT機器等活用した日数の割合の算出による意識付けの結果、市全体としては、全授業日の81%の使用率となった。 ⑤ 学期ごとに学校生活アンケートを実施し、教務主任会で分析、授業改善に活用。「授業は分かりやすい」→小5：1.43ポイント（前年度1.43ポイント）、中2：1.01ポイント（前年度1.08ポイント）と児童生徒からの高い評価が継続している。 2. ユネスコスクールとして、環境教育、ESD（持続発展可能教育）の推進および小中高の連携を重視した先進的な英語教育の取組 ① ユネスコスクール（ESDの拠点校）として各教科指導や総合的な学習とSDGsとの関連付けを意識した取組を行った。 ② 各校の地域環境や特色に合わせた質の高いESDプログラムについて、情報交換をするため、担当者会（12/6）において、全国大会の報告会、北陸ESDコンソーシアムから先生を招いて授業づくりのワークショップおよび講演を行った。 ③ ユネスコスクール全国大会に市内4校から教員1名が参加。（11/29 福山市）	4	・小学校は新学習指導要領のもとでの指導と評価の在り方についての研究を推進する。中学校においてはその準備を推進する。 ・英語教育強化地域拠点事業で行った外国語・英語科授業実践の継続と共有、さらには、小中連携を推進し、英語への興味、関心がさらに向上することを目指す。 ・地域を題材にした学習とSDGsとのつながりを意識した取組を行う。 ・福祉・適応指導教室・SSWの連携支援体制を構築する。 ・幼小接続、小中連携の推進をはかる。 ・働き方改革における中学校の超過勤務80時間を超える職員の割合は33.8%であり、約3分の1の教職員が厳しい状況にある。超過勤務の多くの時間を占める部活動は、勤務時間外に行われるため、縮減には多くの課題を有る。

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
3	④ 小学校外国語教育指導者養成研修（令和元年度小学校における外国語教育指導者養成研修）での授業公開。（2/26 成器南小…コロナ対応で中止） 3. 健全な人間性、人の痛みを理解し人を思いやる心情の涵養。 ① 基本的な生活習慣確立に向けて学校だより、学年学級だより、保護者会等を通じた家庭、地域への啓蒙活動を継続的に実施。 ② 「くらしの礼儀作法」「かつやまっ子応援プラン・6つのルール」を学校生活の中で活用・実践。「明るく元気にあいさつしている」→小5:1.20ポイント(前年度1.55ポイント)、中2:1.46ポイント(前年度1.34ポイント)。小中ともに高評価である。 ③ 全小中学校における道徳授業の公開（授業参観日等）といじめや人権問題を扱った授業、いじめアンケートや教育相談の定期的な実施。 ④ 学校訪問時における道徳の授業公開。 ⑤ ボランティア活動の実施。 地域への行事参加への働きかけの推進。「地区の行事によく参加している」→小5:1.58(前年度1.45)、中2:1.03(0.63)。特に中学校において課題があったが、家庭・学校・地域の連携および地域に根差したESDの継続により、1ポイントを上回る結果となった。 4. 体験活動を通したたくましさ、好奇心、チャレンジする心情の醸成 ① 県の助成を受けた「地域と進める体験活動」の推進。市内10校が参加。 ② 豊かな自然体験活動（かつやまっ子ジオキャンプ）実行委員会にて、本年度の反省と次年度への申し送り。 5. 勝山の歴史・文化・産業・自然環境の学習を通した、ふるさとへの誇りと愛着心の醸成 ① 全小中学校が環境教育・ふるさと学習を柱としてESDを推進。 ② 地元企業、関係機関と連携した「地域に学ぶ14歳の挑戦」の実施。（10/29～10/31） ③ ジオパーク・まちづくり課の支援を受けたジオパーク体験学習の推進。 市内小中学校ジオパーク学習（22回）…滝波川上流探検、大師山登山、北谷野外博物館見学、雪室見学、浄土寺川ダムサイト見学など。	4	

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
3	④ 地域素材を題材にした教科学習の推進…池ヶ原湿原、まほろば、ゆめおーれ、旧木下家住宅、遅羽公民館、平泉寺と一乗谷の交流（平泉寺小と福井市一乗小）など。 ⑤ 生涯学習課の支援を受けた行事への参加 かつやまこども恐竜LABO 豊かな自然体験活動（かつやまっ子ジオキャンプ） 6. 調和のとれた体位・体力の向上と、心と体の健康増進 ① 体育授業の積極的な公開と授業力向上、トップアスリート派遣や低学年体育支援事業による実技指導者派遣、スポーツ体験教室の実施。 ② 小学校における業間体育や中学校部活動等も含めた持久力向上への取組推進。 ③ 食育の推進。（総合的な学習の時間、保健体育授業および給食への栄養教諭等巡回時に指導） ④ 部活動での外部指導者活用の推進。 ⑤ 薬物乱用防止教室、がん教育の実施 7. 情報モラル教育、情報リテラシー教育の推進 ① 各校スマートルールを活用した指導の実施。（全小中学校） 学校独自のアンケートを行いその結果を話し合ったり、スマートルールの改正に生徒と保護者が話し合ったり、家庭での時間を大事にする取組を行ったり、保護者へ積極的な働きかけを実施したりした。 ② ひまわり教室や通信業者が実施する生徒向け講演会等の実施。 ③ 学校だより等を通じた各家庭への周知、協力依頼。（全小中学校） ④ 保護者との連携強化および保護者会等での道徳の授業公開、情報モラル等に関する研修会・講演会等の実施。（全小中学校） ⑤ 福井県県民安全課から発行される情報モラルやネット犯罪等に関するおたよりの活用推進。（全小中学校）	4	

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
3	8. 「福井型18年教育」に基づく保・幼・小・中・高の交流・連携・接続の推進と、より効果的な教育の実現および不登校の未然防止 ① 保育所・認定こども園・幼稚園・小学校が連携し、連絡協議会や交流活動を実施。(1/31) ② 中学校・高等学校連絡協議会を通じた連携の推進。(11/25、1/29) ③ 後期学校訪問および英語授業公開時(10/7～11/22)に小・中学校教諭が互いに授業を参観。研究会にて意見交流。 ④ ESD担当者連絡会協議会(12/6)、学力向上研修会(1/30)にて小中の意見交流と連携推進。 ⑤ 不登校の未然防止に向けた気がかり児童生徒の情報共有と、さわやか教室との連携。 ⑥ 不登校の未然防止に向けた4観点によりアンケートの実施とPDCAシートの作成と次年度への引継ぎ。 ⑦ 個別指導として気がかり児童生徒の情報共有と、さわやか教室との連携。 ⑧ 小・中のスムーズな接続に向けた中学校説明会や中学校体験入学の実施。(2月) 9. 児童生徒が誇りに思う開かれた特色ある学校づくりの推進 ① 地域諸行事への参加・参画の推進。→学校生活アンケート「地区の行事によく参加している」→小5:1.58(前年度1.45)、中2:1.03(0.63)。 ② 全幼小中学校で家庭・地域・学校協議会を設置し、年間3回程度実施。 ③ 学校教育の自己点検・自己評価および学校評価書の作成。小中学校ごとに2学期末に行い、3学期に分析、次年度の計画。 ④ 地域コーディネーターやゲストティーチャーなど外部人材の活用による出前授業の実施。 ⑤ 防災避難訓練の実施(北郷小10/16、勝山中部中10/31、成器南幼稚園10/12、2/15、勝山中部中10/29、2/1) 不審者避難訓練の実施(野向小10/29、勝山北部中11/1、成器西小11/5、村岡小11/7、成器南小11/22) 児童生徒引き渡し訓練の実施(野向小10/29、村岡小11/7、平泉寺小11/13)	4	

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
3	1 0. 教員の働き方改革の推進 ① 勝山市学校業務改善方針を作成し、教職員の意識改革と学校業務の見直しに取り組んだ。 ② 市校長会、教頭会の場で勝山市の超過勤務の現状を伝え、超過勤務80時間以上の職員縮減に取り組んだ。 ③ お盆の学校閉庁を2日延長し、3日から5日にした。 ④ 市教委への提出物の見直しを行い、学校負担を軽減した。 (公的機関からの配布物の精選・写真入職員名簿・指導案・学校要覧・学校教育計画各種報告物の簡素化) ⑤ 中学校における部活動数が職員数の概ね2分の1になるよう取り組んだ。 ⑥ 学校教育の充実に向けて、学校運営支援員17名、部活動指導員3名を配置した。	4	

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
4	「生きる力」を育む市民活動の展開 1. 青少年健全育成推進事業の推進 ● 青少年育成勝山市民会議への委託事業 ①各地区かつやまっ子応援ネットワークからの申請・・・9 地区より 19 事業実施 ②各種団体からの申請・・・10 団体実施 ③家族イベントの開催 ・11/9（土）に市民総合大学と共催し「家族でおもちゃを作ろう！」を開催 県生涯学習センター共催により福井工業高等専門学校教諭を講師に招き、『空気砲の作成』と『紙コプターの作成』を行った。35 名参加。 ・11/23（土）に「中国・インド・アメリカの文化を体験しよう！」を開催 3つの国のクイズやスタンプラリー形式で体験ブースを楽しんだ。 ④『家族からもらったいい言葉』審査 ・10 月に 1 次審査（14 名）、12 月に最終審査（4 名）を行い、入賞作品を選んだ。 応募総数 893 点、入賞作品 18 点 ⑤広報紙「かつやまっ子応援ネットワーク」第 17 号（10 月）第 18 号（3 月）発行 ⑥青少年育成勝山市民会議第 2 回役員会 中止 かつやまっ子応援ネットワーク全体会 中止 青少年育成勝山市民会議総会 中止 ● 「かつやまこども恐竜 LABO」事業の実施 第 6 回 11/30 恐竜砂絵及び恐竜イベント 第 7 回 12/15 博物館セミナー「自然誌と文化 ～クジラを一例として～」 令和元年度冬季企画展の見学・説明 第 8 回 1/25 「福井県立恐竜博物館のバックヤードに迫る」講義・見学 第 9 回 2/15 恐竜化石レプリカ作成体験 第 10 回 3/7 恐竜 LABO 新聞作成（新型コロナウイルス感染症予防により中止） 修了式 3/22 式典中止、修了証書は学校から受講生に配布 ・事業経費の一部は、「子どもゆめ基金助成金」（独立行政法人国立青少年教育振興機構）を活用。	4	・公民館が見守り活動の事務局となっているため、隊員募集を区長会を通じて行ったところ、一部の地区で増員となった。他の地区でも隊員募集のチラシを全戸配布するなど、積極的な取組みを行った。 高齢化している見守り隊員の拡充を継続する。

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
4	2. 子ども達が豊かな自然や生活文化に触れることができる体験学習の実施 ①市子連主催事業 ・競技かるたの練習及び大会の開催 9/17～12/6 週2回「百人一首」競技かるた練習会を実施。 第50回子ども会対抗親善かるた大会 12/2（日）開催。9チーム、30名参加 - 第41回奥越かるた大会 1/13 開催、個人戦に参加。児童や大人が、県大会出場を目指して対戦した。 ・福井市清明地区・おおい町・越前町との交流事業 2/22～23 日実施。 4市町持ちまわりで今回は勝山市が担当。テーマ「左義長まつりを楽しむ」。立川区櫓での左義長ばやし太鼓の体験交流や子どもばやしコンクールの見学、永平寺町と勝山市のジュニアリーダーを交えてのレクレーション、蕎麦打ち等を堪能した。児童9名育成者、指導者9名参加。 3. 子どもの見守り活動の推進 学校の登下校時の見守り活動が主であるが、それ以外の活動として行ったもの。 ・平泉寺小では7月に勝山警察署の方による交通安全教室、2月には鬼を不審者に見立て「逃走中」を行い鬼に捕まったら防犯ブザーを鳴らし作動を確認した。 ・北郷小、荒土小、成器西小、成器南小、村岡小、野向小、鹿谷小、三室小は「感謝のつどい」を開催し見守り隊の方と交流した。 ・北部中、中部中、南部中は地区委員による巡回や祭礼時の見守り活動を行った。	4	

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
5	学習機会と施設の充実 1. 公民館の管理運営について ①嘱託化計画に基づく嘱託主事の配置 今年度は新たに平泉寺、村岡、荒土、北郷、遅羽に嘱託主事を配置した。主事会等で情報交換を行うほか、県公民館連合会のセミナーにも参加し公民館業務の習得に努めている。 会計年度任用職員制度導入に伴い令和2年度採用の館長及び主事を募集し、北谷を除く全公民館に館長1名主事2名を採用し配置することとなった。 これにより、平成29年度から年次計画で実施してきた公民館主事の嘱託化は、完了した。 ②公民館職員のスキルアップ 勝山・猪野瀬公民館の嘱託主事2名が昨年に引き続き、社会教育主事の資格取得に向けて福井大学の履修プログラムを受講。7～8月の金沢大学の社会教育主事講習の現地研修（小松市）に参加し規定の社会教育演習の単位を修得した。 ③福井県公民館大会 10/9 勝山市民会館にて開催、県内の公民館関係者約250名が参加 記念講演会では映画えちてつ物語のプロデューサーで勝山市出身の河合広栄氏が「えちてつ物語に込めた思い」を講演。アトラクションでは市内の女性のみの左義長ばやしグループ「ほほえみ太鼓」が左義長ばやしを披露。 大会参加者を対象に、日本遺産認定を受けたことに伴い、勝山公民館の企画による七里壁等認定箇所への街歩きを実施し約100名の参加があった。 ④金沢大学社会教育主事講習社会教育演習の現地研修 8/6～8 勝山市にて開催 県内外の受講生13名が参加 勝山市の社会教育、公民館活動、市の政策、財政状況、観光、ジオパーク等市政全般のほか、恐竜博物館での発掘体験、平泉寺や旧木下家住宅等の視察なども取り入れた演習を企画し情報提供を行った。	4	・行財政改革の一環として、平成29年度から年次計画を立て進めてきた公民館主事の嘱託化が完了し、令和2年度から会計年度任用職員による運営体制を執ることとなった。 公民館職員が会計年度任用職員になったことに伴い、公民館事務はもとより行政事務等について研修を行い人材育成に努めたい。

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
5	2. 生涯学習センター友楽喜の今後の計画について ・センターの機能移転について文化協会等関係団体及び利用者への説明会を実施 ・5/27 利用者から市議会に対し「生涯学習センター友楽喜の閉鎖に関する陳情書」が提出された。種々審議された結果「採択」され、今後、廃止も含めた議論を利用者と継続的に行い、センターのあり方に関する方針を出すこととなった。 ・8/21 生涯学習センター運営審議会において、上記を説明し意見を求めた。市民会館等へ移転するにあたっての課題を整理し、時間をかけて協議し進めると良いとのことであった。 3. 北谷公民館の指定管理について ジオパークまちづくり課とともに毎月、NPO 法人きただに村との連絡調整会議を行い意見交換や適正な経理が行われているか確認を行っている。 4. 生涯学習の機会提供と学習内容の充実 ①勝山市民総合大学 R 元年度実績 50 講座 延べ 313 回 延べ受講者 3,607 名 ※3 講座中止 学位認定：博士 3 名、修士 4 名、学士 15 名 ※学位認定式は中止 R2 年度前半講座のパンフレット配布及び受講者募集は延期 ②さわやか大学 受講者数：ふるさと学科 85 名 生きがいと健康づくり学科 75 名 計 160 名 4/9 開講後、月 2～3 回開催 ふるさと学科 22 回 生きがい健康づくり学科 22 回 一般市民も参加できるオープン講座 9 回、一部は福井県生涯学習センターや市民総合大学と共催で実施。 ③公民館学級 R 元年度実績 162 講座 延べ 4,091 名受講 全公民館においてジオツアーや星空観察会、ホタル観察会などジオパークに関する講座を開催。ウォーキングやノルディックウォークなどを取り入れ、説明員を招いて市内のジオパークを巡る取組もあった。 旧木下家住宅及び日本遺産認定により注目を浴びている七里壁、大蓮寺川改修工事により調査されている袋田遺跡を活用し史跡や文化財を学ぶ取組も行った。 南部中生徒を講師に招きクラフトバック作り教室を実施（平泉寺）	4	

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
5	伝承料理教室（遅羽）、学芸員による地域の歴史を知る講座（北谷、遅羽） 高齢者向け防災等の講座（勝山、北谷、荒土）など 全般として地域の特色や課題解決を取り入れた講座に取り組んだ。 ④「勝山市生涯学習人材バンク」の登録者の発掘と利用促進 人材バンク登録者（更新）36 名 人材バンク利用申請 22 団体 27 件 勝山市「人材活用による講師派遣」事業実施要綱の制定（R2 年 4 月 1 日施行） ふくい嶺北連携中枢都市圏の連携協約により、福井市の人材バンクに登録された講師を勝山市内の団体が希望に応じて講師派遣を依頼できる制度を定めた。 5. 各種団体への活動支援について ①市青团連：婚活イベント「あなたのそばでソバ打ち体験」参加人数不足のため中止、 取立山交流登山 クマ出没のため中止 市子連：金沢市子ども会との交流事業 6/15～16 勝山にて実施 木工教室（小学 3～6 年生対象）7/22、7/24、7/26、7/29 工作教室（1～2 年生対象）8/7、8/9 競技かるたの練習、研修会、他市町との交流会に参加 市壮連：10/24 奥越ブロック壮年リーダー研修会 市文化協会：選抜芸能祭（小浜市）、選抜美術展（あわら市）に参加 R3 年度選抜美 術展が勝山市で開催されるため、選抜美術展の見学を兼ねて会場を視察 ②明日の勝山を築く市民運動推進協議会：12/7 ふるさと交流会を開催、福井大麦倶楽部 による講演会「大麦ストローの誕生と秘話」、盆栽作り体験他 市壮連：12/1 ソフトバレーボール大会 ③成人式実行委員会（R2 年 1/12 勝山市成人のつどい） 実行委員 13 名によるアトラクションの企画立案、運営を行う。 と題して、今後、詳細を決める。 ④成人式実行委員会：R2 年 1 月 12 日 勝山市成人のつどい開催 新成人 194 名参加 テーマ「∞」れいわ～新時代に種を蒔こう～ 式典にて、「新成人の声」の最優秀賞及び優秀賞の受賞者が発表（応募 42 名） アトラクションでは「ふるさと回帰ムービー」（H30 年度に地方創生推進交付金を活用 して日本大学芸術学部学生が勝山市をロケ地に製作）を上映、新成人と恩師による交 流会を開催した。	4	

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
5	6. 公民館及び市民会館の施設改修について ①市民会館の空調設備改修工事 6月補正予算に空調用ダクト調査委託料を計上、ダクト臭及び内部状況調査を行い良好との診断あり、カビ臭も空調機交換により改善する見込みである。 9月補正予算に空調設備改修工事費を計上、大ホールは空冷式空気調和機等に、1階展示ホールはパッケージエアコンに改修することとした。(2か年で実施) ②市民会館非常用自家発電設備設置工事 6月補正予算に工事費を計上し非常用自家発電設備の整備を行い、災害等の非常時機能を強化する。 ③平泉寺公民館の外壁及び内装工事 外壁補修工事、内装修繕工事、給排水衛生設備工事完了	4	

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
6	文化芸術活動の振興	4	・文化協会加盟団体の成果発表の場として各公民館を通じて地区の行事への出演を斡旋したところ、複数の団体が敬老会や夏祭りに出演することができた。 ・市民総合文化祭を盛り上げるための仕掛けや工夫をする。
	1. 郷土芸能施設の整備充実 ・沢区から左義長太鼓の補修について補助金申請あり。9月補正予算に計上した。 2. 伝統文化の継承 ①文化庁の伝統文化親子教室事業（地域展開型）に「勝山市野向町伝統文化体験事業」を申請したところ、選考により採択されたため6月補正予算に経費を計上した。主に、野向町に伝わる高尾山音頭、雅楽、大日太鼓の体験や郷土食の体験等を行う。 ②市民総合大学：市学芸員による「勝山の歴史」講座4回 公民館学級：田舎料理づくり、干し柿づくり（鹿谷） さわやか大学：県埋蔵文化財調査センター元所長、勝山城博物館学芸員、大野市学芸員及び勝山市学芸員等を講師に招き勝山の歴史講座を6回開催 3. 文化芸術活動への支援 初めての取組みとして、文化協会に加盟している芸能関係団体（三味線等）が日頃の練習の成果を発表する場として、福祉施設のイベントや各地区の敬老会等の出演を斡旋する取組を行った。（2件） 4. 勝山市民総合文化祭等の充実 10/26～27 第55回勝山市民総合文化祭 オープニングセレモニー、展示発表会、芸能発表会開催 10/13～11/24 俳句、菊花、将棋、囲碁の各大会 ピアノ・エレクトーン発表会、ミュージカル公演、奥越特別支援学校作品展が開催された。 参加団体：展示 33 団体、芸能 32 団体、その他大会等：14 団体 5. 一流の文化芸術に触れる機会の提供 民間財団が行う地域住民のためのコンサートのサクソフォンリサイタルを申請したところ採択され、令和2年度にコンサート及び奏者による中学校吹奏楽部生徒への指導を企画し予算計上した。		

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
7	国際交流の推進 1. 国際交流員（CIR）の活動の推進について ・ 大人のための英会話教室 年間 32 回 延べ 385 名参加 ・ 日本語学習広場 年間 22 回 延べ 67 人参加（中国、ベトナム、米国人参加） ・ 学校等訪問 11 月～2 月（3 月は中止）各小学校 11 回 成器南幼稚園 5 回 主に歌とゲーム、アメリカやインドの文化を紹介を行った。 ・ 国際交流サロン 7/15「インド文化イベント」小学生 24 名及び県内 ALT4 名参加 ダンス、お菓子、言葉、テナ等のインド文化の体験、民族衣装サリーの試着等 10/19「ハロウィンパーティ」小学生 40 名及び県内の ALT7 名参加 11/23「中国・インド・アメリカの文化を体験しよう」 青少年育成市民会議及び勝山市日中友好協会と共催、県内 ALT 協力 3 つの国のクイズ出題、食べ物・遊び・民族衣装の試着などの体験、言葉等を通してそれぞれの文化に親しんでもらった。小学生親子 24 名、ALT 他 15 名参加 ・ その他 8/13 勝山ジャズフェスティバル、8/15 谷のはやし込み行列に参加 2. 青少年国際交流事業について ①ハワイ派遣事業 6/26 市青少年国際交流連絡協議会と勝山ライオンズクラブ役員で今後のハワイ交流事業について意見交換を行った。勝山 LC とモアナルア LC との友好締結は難しいが交流は可能とのことであった。新たな交流先等も視野に入れて検討する必要がある。今年度については下記の日程で調整中。 派遣期間：R2 年 3/24～29 4 泊 6 日 申込期間：6/25～7/19 市内中学校、勝山高校、奥越明成高校、大野高校に参加募集要項を配布、市広報及び HP にも掲載し広く募集した。申込者 15 名 面接選考：7/27 個人面接を行い 12 名の派遣を決定した。 派遣内訳：高校生 2 名 中学生 10 名 同行者：国際交流員、学校教育課職員、生涯学習・スポーツ課職員 3 名	4	・ ハワイ青少年派遣については、MLC と良好に連絡を行い同クラブやモアナルア高校との交流を計画していたが、残念ながら新型コロナウイルスの収束が見通せないため参加者の安全確保を最優先し中止することとした。 別途、青少年の国際交流事業について検討する必要がある。 ・ 市日中友好協会のイベントに際し、多文化共生の観点から初めての試みとして市内繊維企業 7 社の研修生（中国・ベトナム・ミャンマー人）に企業を通じて参加を呼び掛けた。新型コロナウイルス感染予防の関係上参加者は少数であったが、ゲーム等で市民と交流を深めることができた。

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
7	ワークショップ 第1回 8/28 自己紹介、ハワイの紹介、英会話トレーニング他 第2回 9/13 交流の際の英語プレゼンテーション、英会話トレーニング他 第3回 10/17 旅行会社からパスポート取得等の説明、ESTA 申請、交流内容他 第4回 11/9 福井大学語学センターにてレジナルドジェントリー先生及び渡邊綾先生の講義、英会話レッスンを受講 第5回 12/17 現地での交流時のプレゼンテーションについて、名刺作成 第6回 1/22 旅程、モアナルア高校及びライオンズクラブとの交流について 第7回 2/12 交流時の発表練習、お土産について、旅行社外貨両替等について 2/20 新型コロナウイルス感染予防のため派遣を中止、保護者等へ連絡 ②勝山市日中友好協会への支援 2/8「中国春節イベント2020 新年好、春節を祝おう」 青年団体連絡会と共催 和太鼓演奏、春節紹介、中国茶試飲、羽根けり、カラオケ他を通じて中国の文化に親しんでもらい交流を図った。初めての試みとして、市内繊維企業で働く外国人研修生の参加を企業を通じて呼びかけた。37名参加（うち中国人3名、ベトナム人4名参加）	4	

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
8	図書館機能の充実	4	・新型コロナの影響で、3月以降の行事は全て中止となったため、ブックスタートも中止となった。対象者は、受講期間が1年間と限られているが、中止期間が長引くようであれば、受講期間を延長するなど対応を検討する必要がある。 ・行事を中止したことが、来館者数減少の一因となっている。今後、図書館サービスが制限される中でも、利用者が必要とする情報を発信し、時事的な話題をテーマとする企画等を行うことで、読書への興味関心を促し、図書の貸出へと繋げるよう努める。
	1. 子ども読書活動推進計画関連事業の推進 ①ブックスタート事業について 定例日（毎月第3木曜日）に開催。定例日に都合の悪い家庭には、日程調整のうえ個別対応。H31.4月～R2.3月 参加者：86組（うち定例外参加：17組） 関連行事「赤ちゃんといほんの日」の告知も行った。（H31.4月～R2.3月の参加：29組） ただし、『ブックスタート』『赤ちゃんといほんの日』は、新型コロナ感染拡大防止のため3月は中止。 ②学校図書館への支援 北部中校下2校（荒土小学校、北郷小学校）の図書整理作業（ラベルの貼り替えや配置換え、図書情報のデータ化等）を終了した。これにより、平成27年度から進めてきた市内全小中学校の図書整理作業は完了し、図書の貸出・返却をパソコンで管理できるようになった。また、学校図書館（小学校）にて、季節に応じたテーマを設けて企画展示を実施した。 2. 市民ニーズに対応した図書の充実と図書館ネットワークの推進 ①年中行事や時事的な話題、アンケート結果を反映した図書の企画展示を行い、季節ごとに変わる市民の読書ニーズに対応して、利用促進を図った。 H31.4月～R2.3月の企画展示件数：30件 ②白山信仰、平泉寺、恐竜化石等勝山市に関連する図書を随時収集し充実を図った。 H31.4月～R2.3月実績（寄贈・購入）白山信仰・平泉寺10冊 恐竜関係64冊 ③リクエストを受けた図書が勝山市にはないが、県や他市町の図書館に所蔵がある場合は、積極的に図書館相互貸借ネットワークを利用した。 H31.4月～R2.3月実績 借受冊数 1,109冊、貸出冊数 358冊 （対前年度比（H30.4月～H31.3月）借受冊数 1,322冊、貸出冊数 291冊） 3. 公民館や学校への支援 ①積極的な図書資料の活用を奨励した。公民館に、図書館貸出ベスト30を一覧にして毎月配布し、公民館職員に選書の参考にしてもらった。12月からは公民館職員の要望に応え、小説等の貸出ベスト30を作成し配布した。また、公民館にてテーマを設		

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
8	けた企画展示を実施し、公民館来館者への図書利用促進を図った。 H31.4月～R2.3月 団体貸出利用公民館数 7館 利用回数（全館合計） 61回、 団体貸出冊数（全館合計） 1,474冊（H30年度:1,458冊） 先生方の依頼を受け、小学校の学習に関連した図書等の選書を支援し、クラス単位または学年単位、学校単位での団体貸出を行った。また、小学生の学年別及び中学生に対して「おすすめの本リスト」を配布するなど、推奨図書の情報提供を行った。 H31.4月～R2.3月 （小学校全体合計） 利用回数 109回、貸出冊数 1,790冊 （かつやま子どもの村小中学校合計） 利用回数 99回、貸出冊数 1,174冊 （福井県立奥越特別支援学校合計） 利用回数 46回、貸出冊数 205冊 4. はたや記念館ゆめおーれ勝山との連携 お互いの広報紙（図書館側：「図書館からのお知らせ」、ゆめおーれ勝山側：「月間行事予定」）を施設内に貼り、行事の周知を図った。また、ゆめおーれ勝山からの申請に応じ、イベント時の控室として図書館内一室の提供等も行った。	4	

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
9	自然体験学習・ジオパーク学習の推進	4	・各事業ごとの参加人数は増加している。事業数を増やすのではなく、より魅力のある内容を検討し、参加人数の増加を図る。
	1. 自然体験学習等への参加者数を総合計画目標数値の1, 500人と設定。 それぞれの事業の周知について工夫を行い参加人数の増に努める。 ①自然観察会の開催 バンビラインの自然観察会 4月14日（日） 162人 谷のブナ林の観察会 5月12日（日） 14人 大師山自然観察会とジオ探訪 5月25日（土） 9人 初夏の池ヶ原湿原の自然観察会 7月 7日（日） 19人 岩屋川流域の名所を巡る観察会 7月14日（日） 21人 ②探勝登山の実施 ミズバショウ探勝登山（取立山） 5月19日（日） 13人 ③「恐竜を描こう」図画作品コンクールの充実 1, 280点の応募（市外7点、県外219点） ④カヌー体験&おぼれたときの対処法 8月 3日（土） 20人		
10	競技スポーツと生涯スポーツの推進	4	・勝山恐竜クロカンマラソンの参加者が増加するよう、PRに努める。 ・今後、ランニングコースやトレーニングルームの利用者が増加することが見込まれる。 利用について支障が出ないよう検討が必要。
	1. 勝山恐竜クロカンマラソンの充実 熊の出没により中止となり、申込者には参加料、参加賞（タオル）を送付した。 ①申込者数 2, 094人 ②薬師神谷の川沿いのコース整備を行った。 2. 勝山市体育館「ジオアリーナ」のトレーニングルーム及びランニングコースの利用促進 ・トレーニングルームの利用者数 22, 629人（昨年19, 620人） 3月2日からトレーニングルームの閉鎖 （トレーニング講習会受講者数 H28～累計2,344人内、R1は382人） ランニングコースの利用者数 22, 298人（昨年19, 846人）		

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
10	3. 東京2020オリンピック聖火リレー 聖火ランナー・ボランティアが決定、聖火リレーの盛上げ・交通規制の依頼等を進めていたが新型コロナウイルスの影響で延期となった。	4	
11	体育施設の整備・充実 1. 既存体育施設の再配置、再整備 勤労者体育館の跡地は、地権者に返還することとなった。 長山グラウンド照明施設を都市建設課の事業で修繕を行った。 2. B & G勝山海洋センター利用の充実 利用者の利便性を図るため、トイレの洋式化及び多目的トイレの設置にかかる工事費を令和2年度予算に計上した。 3. 市営温水プールの運営管理について ・令和2～6年度の指定管理者は前回同様(株)相互に決定した。	4	・平成31年度に勤労者体育館の解体工事を予定していることから跡地の利用計画について早急に検討が必要。

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
12	白山平泉寺歴史探遊館まほろばの誘客増および継続的な白山平泉寺旧境内の保護・整備 1. 白山平泉寺歴史探遊館まほろばの来館者年間 46,000 人達成に向けた誘客増 ①まほろばのイベントや企画展（合計 12 回）により誘客増を目指すことについては、後期は、展示「神仏習合って何」（10/12～12/15）、「平泉寺春の見どころ展」（3/7～4/19）、クイズ探検「秋 10/19～10/31」、「冬 12/14～2/29」、「春 3/14～3/31」、「しおり作り体験」10/19、「土器に触ってみよう」11/2、園児招待節分イベント 1/21、かきもちづくり 2/8 等を実施し誘客をはかった。 ②日本遺産認定を利用し、平泉寺やまほろばの魅力を発信することについては、世界遺産講演会 11/10、「日本遺産認定記念パネル巡回展」12/7～15 等を行った。 ③勝山城博物館、ゆめおーれ勝山、越前大仏との 4 館連携により誘客増を目指すことについては、連携俳句募集と選考を前期と後期で 2 回実施した。 2. 南谷発掘地の適切な管理と見学者の誘導 ①南谷発掘整備地の見回りと適切な管理について、クマ対策も含め週 1 回程度現地を見回った。 ②まほろば来館者の 1 割を発掘地に誘導することについては、後期もクマ出没により積極的な誘導は行えなかった。 3. 平泉寺発掘調査報告書（遺物編）の刊行については、3 月末に 180 ページに及ぶ報告書を刊行した。 4. 平泉寺第 2 期整備事業計画の策定について、新型コロナウイルスの関係で指導委員会が開催できず、計画はまとめられなかった。 5. 史跡の課題解決に向けた取り組みを進める ①平泉寺境内のガイドについて、すべて一本化したい指定管理者と、個別に対応したいガイドクラブとの間で問題が発生。2 月 13 日をはじめ、個々に複数回協議したが決着せず。	4	・平泉寺に関する課題解決のため、白山神社と平泉寺区、平泉寺指定管理者と商工観光・ふるさと創生課を含めた連携協議が必要。

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
13	世界遺産登録の推進	4	・新型コロナウイルスの関係で、人を呼び込んだり、集めたりすることが難しくなっており、今後の各種事業展開が難しくなっている。それに代わる事業を検討する必要がある。
	1. 福井県・福井市と協力し、日本遺産の取り組みを進める ①令和元年8月29日福井県・福井市・勝山市で協議会を立ち上げ、各種事業を実施。国60%補助のホームページ・ガイドブック作成は、計画通り進めることができ、また、国100%補助については、七里壁、安波街道、笏谷石の全国的な展開について調査研究を進めることができた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月22日の日本遺産シンポジウムは中止となった。 ②庁内の関係課である商工観光・ふるさと創生課と協力し、事業を展開。 ③雑誌等に30回とりあげられるよう、平泉寺と勝山城下町の構成資産に磨きをかけ、その魅力を発信することについて、新聞等にとりあげられた件数は27件。 ④構成資産を結ぶ周遊ルートを構築、モデルコース設定した。 2. 世界遺産の取り組みを進める ①世界遺産講演会の来場者数110人の来場者があった。 ②日本遺産認定を利用し平泉寺の魅力に磨きをかけることについては、各種講座・講演会(平泉寺小、勝山公民館、さわやか大学、市民大学、各種団体等)で平泉寺をPR。		
14	歴史遺産の保護、保存、活用の推進	3	・三室遺跡や村岡山については、クマ対策や新型コロナウイルスの関係で十分にPRできなかった。第5次恐竜発掘地の買収については、県が実施した用地測量に不備な点があり、今後、さらに関係者と協議していく必要がある。
	1. 埋蔵文化財の適切な保護をはかる ①市内各所で行われる開発行為から埋蔵文化財を保護することについては、最終的に59件の届出を受理し、その内9件試掘、本格的発掘は5件実施した。 2. 村岡山城跡を積極的にPRする ①学芸員による見学会を2回開催し、その価値を広く市民にPRすることについては、地元村岡小学校対象に、学芸員の出前授業を開催した。 ②各種チラシやマップ等に村岡山城を掲載し、その価値をPRすることについては、新たなマップづくりの機会がなく、実施できなかった。		

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
14	3. 三室遺跡と縄文遺跡等資料室の来館者 500 人を目指す ①まほろばや旧木下家、勝山城博物館、ゆめおーれ等をめぐるスタンプラリー等で誘客増をはかることについては、スタンプラリー用台紙を製作した。令和元年度の縄文遺跡等資料室の来館者総数は 212 名となった。 ②三室遺跡内（麓と頂上）に写真入りの説明板を計 2 基設置した。 4. 県指定文化財 勝山左義長の国指定文化財に向けた取り組みを進める ①市史編さん審議会にはかり作業を進めることについては、11 月 12 日に委員会を開催し、翌年の 2 月 23. 24 日に大阪芸大の西岡教授に指導を受けた。 ②国指定の年次調査計画をつくることについては、県歴博と 7 回協議した。 5. 恐竜溪谷 100 万人（恐竜キッズランド）構想関連事業の推進 ①第 5 次発掘調査候補地の買収に向けた交渉を続ける。 10 月 3 日と 3 月 19 日に県立恐竜博物館と今後の方向性について協議。 ②県が進める国天然記念物「勝山恐竜化石群および産地」の保存活用計画策定に協力することについて、年 1 回の第 2 回策定委員会に参加した。	3	
15	国重要文化財旧木下家住宅の修繕と管理、活用 1. 旧木下家住宅の保存活用計画を修正する ①旧木下家住宅の保存活用計画の修正については、11 月 21 日に調査整備指導委員会に諮り計画を修正し、さらに 3 月に予定されていた最終確認の会議は新型コロナの関係で中止となった。 2. イベントや魅力発信により、来館者 2,000 人を目指す ①旧木下家住宅活用委員会の 4 回のイベントの他に、各種イベント 5 回を文化財保護室で開催することについては、計 6 回となった。 市教委主催のイベントとして、4/27～5/5 学芸員による特別解説、5/1 鼻笛教室、5/1.2 昔のくらし道具体験（石臼引き）、5/3 鮎巻き寿司のふるまい、7/28 昔のくらし道具体験（コモ編み）を行った。	4	旧木下家住宅の来館者は、目標の 2,000 人を上回る 3,156 人となった。

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
15	②旧木下家住宅活用委員会のイベントとして、5/5 和菓子作り体験、11月17日には「ちょっと昔の結婚式」、11月23日は「旬の芋煮会」、12月14日は「蕎麦打ち体験と振舞い蕎麦」を開催、計4回実施した。 ③来館者アンケートは、3月末までに113人からとり、年齢、性別、来訪動機、意見や感想等を調査し、内容を分析した。	4	
16	勝山城博物館との連携強化 1. 勝山城博物館との連携共催展の開催 ①第6回共催展として「福井の偉人 書家 西脇呉石 ～研ぎ澄まされた心と線～」を開催し、期間中の目標入館者数5,000人を目指すことについて、期間中の来館者は例年4,000人代で推移していたが、今年は3,546人となった。期間中の台風などによる天候不順が主な原因と考えられる。 ②わかりやすい展示を行うことについて、子ども向けの解説シートを準備。注目すべき展示品には、子供向けのキャラクターを置いて分かり易くし、解説文にはひらがなを使った。 ・鉛筆での習字体験を行った子どもには缶バッジをプレゼントし好評を得た。 ③報道関係者へのピーアールや雑誌・チラシ等で共催展を周知させることについて、例年になく福井新聞の論説やコラムにも取り上げられた。 2. 勝山城博物館の博物館機能（保管庫、燻蒸庫）の活用 ①適切な保管・保存が必要な文化財について、優先順位を考慮し収納することについて、現在保存されている資料を確認し、必要なものは収蔵した。 ②個人が所蔵する文化財について、勝山城博物館の施設を利用して燻蒸を行い、その保護・保存をはかることについて、今回は10回の燻蒸を行い、個人の所蔵資料も燻蒸した。	3	・勝山城博物館との共催展の入館者は最終的に3,546人となった。展示期間を通し、主に休日の天候に恵まれず、客足が遠のいたのが原因と考えられる。 ・小中学校が見学しやすい環境づくりが必要である。

【参考】

1 教育委員会の構成 平成31年3月26日から令和元年3月25日まで

職 名	氏 名	教育委員任期
教育長	梅田 幸重	平成29年 3月26日から令和 2年 3月25日
教育長職務代理者	島田 さよ子	平成30年 6月20日から令和 4年 6月19日
委員	若林 正三郎	平成29年 3月26日から令和 3年 3月25日
委員	大久保 千恵	平成31年 4月 1日から令和 5年 3月31日
委員	今井 克己	平成27年12月24日から令和 元年12月23日
委員	田中 修二	令和 元年12月24日から令和 5年12月23日

2 教育委員会の開催回数、内容

(1) 開催回数 13回（定例12回、臨時1回）

(2) 内 容 次のとおり

○ 平成31年4月定例教育委員会 平成31年4月4日（木）

議案第1号 平成31年度勝山市育英資金の貸与者について

議案第2号 「勝山市学校業務改善方針」の策定について

議案第3号 「部活動のあり方に関する方針」の策定について

議案第4号 北郷の庄屋屋敷 重要文化財旧木下家住宅の設置及び管理に関する条例の施行期日を定める規則の制定について

議案第5号 北郷の庄屋屋敷 重要文化財旧木下家住宅の設置及び管理に関する条例施行規則の制定について

・平成31年度 教育委員会各課重要課題と取組方針について

・3月定例市議会の報告について

- ・北郷の庄屋屋敷 重要文化財旧木下家住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- ・勝山市市民総合大学 平成31年度前期講座について
- ・勝山市さわやか大学 平成31年度講座について
- ・互助会会計の決算報告について

- 令和元年5月定例教育委員会 令和元年5月9日（木）
 - 議案第6号 勝山市立公民館運営審議会委員の委嘱について
 - 議案第7号 勝山市生涯学習人材バンク登録台帳への指導者の新規登録について
 - 議案第8号 勝山市青少年国際交流派遣事業補助金交付要綱の制定について
 - 議案第9号 改元に伴う関係教育委員会規則の整備に関する教育委員会規則の一括改正について
 - 議案第10号 改元に伴う関係教育委員会告示の整備に関する教育委員会告示の一括改正について
 - ・平成30年度 教育委員会の点検・評価について
 - ・勝山市生涯学習センター運営審議会委員の委嘱について
- 令和元年6月定例教育委員会 令和元年6月6日（木）
 - 議案第11号 平成31年度福井県義務教育諸学校教科書用図書採択に係る決議について
 - 議案第12号 勝山市社会教育関係団体の新規認定について
 - 議案第13号 国際交流事業補助金交付要綱の制定について
 - 議案第14号 勝山市図書館協議会委員の任命について
 - ・平成30年度 教育委員会の点検・評価について
 - ・令和元年度 教育委員会の点検・評価について
 - ・「福井の教育のさらなる充実・発展のために」について
 - ・国際交流サロン インド文化イベントについて
 - ・2019年度特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会について
 - ・日本遺産の認定について
 - ・勝山城博物館・勝山市連携第6回共催展の概要について
- 令和元年7月定例教育委員会 令和元年7月4日（木）
 - 議案第15号 勝山市福井大学教職大学院派遣事業補助金交付要綱の一部改正について
 - 議案第16号 勝山市立公民館運営審議会委員の委嘱について
 - ・令和元年度 教育委員会の点検・評価について

- ・ 6 月定例市議会の報告について
- ・ 第 6 回中学校再編検討委員会報告について
- ・ 令和元年度勝山市ハワイ青少年交流事業について
- ・ 日本遺産の今年度要望事業について

- 令和元年 8 月定例教育委員会 令和元年 8 月 1 日（木）
議案第 1 7 号 令和 2 年度使用教科用図書の採択について
議案第 1 8 号 勝山城博物館展示活用懇話会開催要綱の一部改正について
 - ・ 勝山市教育委員会表彰審査会委員の委嘱について
 - ・ 勝山市立中学校再編検討委員会の答申について
 - ・ 「勝山高校性 市長と語る会」について
 - ・ 勝山市青少年健全育成推進大会の開催について
 - ・ 婚活イベント「あなたのそばでソバ打ち体験」について
- 令和元年 9 月定例教育委員会 令和元年 9 月 5 日（木）
議案第 1 8 号 勝山市公民館管理規則の一部改正について
議案第 1 9 号 勝山市恐竜化石発掘体験事業実施要綱の一部改正について
 - ・ 教育委員会の点検・評価報告書（平成 3 0 年度）の提出について
 - ・ 市議会 9 月定例会提出議案等について
 - ・ 全国学力・学習状況調査の結果公表について
 - ・ 学校訪問について
 - ・ 勝山市文化財保護審議会委員の委嘱について
 - ・ 第 6 5 回勝山市民体育大会相撲競技会（兼）第 5 1 回勝山市地区対抗相撲大会の開催について
- 令和元年 1 0 月定例教育委員会 令和元年 1 0 月 3 日（木）
議案第 2 0 号 勝山市教育委員会表彰被表彰者の決定について
議案第 2 1 号 勝山市社会教育関係団体の新規認定について
 - ・ 9 月定例議会の報告について
 - ・ 学校視察について
 - ・ 第 5 5 回市民総合文化祭について
 - ・ 令和元年度勝山市民総合大学後期受講生の募集について

- ・国際交流サロン「ハロウィンパーティー」について
- ・日本遺産の現状と今後の予定について
- ・町民運動会について
- ・令和２年度以降の市営温水プールの指定管理について
- ・東京２０２０オリンピック聖火ランナーについて

- 令和元年１１月定例教育委員会 令和元年１１月３日（土）
議案第２２号 福井県視聴覚教育研究大会奥越地区大会補助金交付要綱の制定について
 - ・令和元年度教育委員会の点検・評価（中間）について
 - ・中国・インド・アメリカの文化を体験しよう！
 - ・旧木下家住宅調査整備指導委員会委員の委嘱について
 - ・旧木下家でちょっと昔の結婚式について
 - ・平泉寺世界遺産講演会２０１９について

- 令和元年１２月定例教育委員会 令和元年１１月２８日（木）
 - ・令和２年勝山市成人式について
 - ・ふるさと交流会について
 - ・日本遺産調査研究講演会と旧木下家「そば打ち体験・振る舞い」について
 - ・東京２０２０オリンピック聖火リレーにかかる交通規制について

- 令和２年１月定例教育委員会 令和２年１月９日（木）
議案第２３号 勝山市立成器南幼稚園運営規程の一部改正について
議案第２４号 史跡白山平泉寺旧境内調査整備指導委員会設置要綱の制定について
議案第２５号 旧木下家住宅調査整備指導委員会設置要綱の制定について
 - ・１２月定例市議会の報告について
 - ・令和２年度勝山市育英資金奨学生募集について
 - ・第５１回少年少女スキー大会について
 - ・ナイタークロスカントリースキー教室について
 - ・「ニューススポーツ祭」In かっちやまについて

○ 令和２年２月定例教育委員会 令和２年２月６日（木）

- 議案第２６号 勝山市社会教育関係団体の認定に関する要綱の一部改正について
- 議案第２７号 勝山市生涯学習人材バンク登録台帳への指導者の新規登録について
 - ・ 幼児教育・保育の無償化に伴う関係条例等の改正等一覧について
 - ・ 令和元年度卒業証書授与式・参列・告辞について
 - ・ 日本遺産認定記念シンポジウムについて
 - ・ 日中友好協会イベント「春節を祝おう」について

○ 令和２年３月定例教育委員会 令和２年３月１９日（木）

- 議案第２８号 勝山市教育委員会が行う勝山市立小学校及び中学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則の制定について
- 議案第２９号 独立行政法人日本スポーツ振興センター共済給付制度に係る保護者負担に関する規則の制定について
- 議案第３０号 勝山市育英資金奨学金返還減免の基準を定める要綱の一部改正について
- 議案第３１号 勝山市要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給要綱の一部改正について
- 議案第３２号 勝山市「人材活用による講師派遣」事業実施要綱の制定について
- 議案第３３号 勝山市地区公民館施設整備補助金交付要綱の全部改正について
- 議案第３４号 勝山市生涯学習人材バンク登録台帳への指導者の登録更新について
- 議案第３５号 勝山市社会教育関係団体の認定更新について
- 議案第３６号 新たなお家芸競技育成支援事業補助金交付要綱の制定について
- 議案第３７号 全国高等学校総合体育大会開催準備事業補助金交付要綱の制定について
- 議案第３８号 勝山市体育施設利用団体の登録に関する要綱の一部改正について
- 議案第３９号 市内全小学校・中学校の臨時休業に関する教育長の処理の承認を求めることについて
 - ・ 規則等の改正予定について
 - ・ 教員の働き方改革について
 - ・ 第３３期勝山市スポーツ推進委員の委嘱について
 - ・ 勝山市附属機関の設置に関する条例の一部改正について
 - ・ 第１６回勝山恐竜クロカンマラソンの開催について

○ 令和２年３月臨時教育委員会 令和２年３月２４日（火）

- 議案第４０号 勝山市教育委員会教育長に対する事務委任規則等の一部改正について
- 議案第４１号 勝山市部活動指導員設置要綱等の一部改正について
- 議案第４２号 勝山市教育委員会事務局処務規程の一部改正について

議案第４３号 勝山市立中学校再編検討委員会設置規則の廃止について
議案第４４号 勝山市立小中学校支援員等設置要綱の制定について
議案第４５号 勝山市適応指導教室設置要綱の制定について
議案第４６号 勝山市社会教育指導員設置等に関する規則の一部改正について
議案第４７号 勝山市社会教育指導員服務規程の廃止について
議案第４８号 教育委員会事務局長、課長、公民館長の任免について

３ その他

（１）勝山市教育委員会表彰式

実 施 日 令和元年１１月３日（土） 勝山市教育会館

概 要 受賞者 ２６名 ６団体

（２）令和２年勝山市成人式

実 施 日 令和２年１月１２日（日） 勝山市民会館

概 要 新成人 ２２２名